

はじめに.....	1
第1章 地震の特徴	3
第1節 地震被害の概要	3
第2節 どのような地震か 地震の震源と起こり方	5
1 活断層から見た地震像	5
2 文献史料から見た地震像	12
3 震度分布から見た地震像	16
4 琵琶湖周辺地域の地震活動と寛文近江・若狭地震	22
コラム 江戸時代の時刻	26
第2章 葛川谷での被害	27
第1節 葛川の歴史的特色	27
第2節 町居崩れの発生	34
1 町居崩れによる被害	34
2 「葛川山林絵図」について	35
3 町居崩れの崩壊規模	37
4 天然ダムの形成と規模	38
第3節 なぜ町居崩れが生じたか	41
第4節 震災の影響	45
1 町居村の場合	45
2 榎村の場合	46
3 坊村の場合	47
第5節 下流域での被害	48

第3章 琵琶湖沿岸での被害 50

第1節 琵琶湖西岸地域の歴史的特色 50

第2節 琵琶湖西岸での被害状況 56

1 堅田は地震で動いたか 56

(1) 検地帳と年貢割付状 59

(2) 慶長検地と延宝検地 59

(3) 田畑の変化を地図で確かめる 62

(4) 堅田村の農地は地震で失われたのか 64

2 大津での被害 64

3 膳所での被害 65

4 彦根での被害 67

5 大溝での土地の沈降 68

第3節 琵琶湖沿岸でなぜ著しい被害が生じたか 73

第4節 液状化現象の実態 77

1 螢谷遺跡 77

2 穴太遺跡 77

3 烏丸崎遺跡 77

4 野尻遺跡 78

5 堤遺跡 78

6 加茂遺跡 78

7 大中の湖南遺跡 78

8 五斗井遺跡 79

コラム 考古遺跡と琵琶湖周辺の地震の痕跡 85

第4章 若狭国での被害・地変と震災対応 90

第1節 震災当時の小浜 90

第2節 小浜の被害と人々の対応 93

1 小浜の被害状況 93

2 余震と民衆の不安 95

3 幕藩領主層の震災対応 96

第3節 震災当時の三方地方	98
1 三方地方の特色	98
2 小浜藩の新田開発	100
第4節 どのような地変が生じたか その様相と原因	102
1 地震前の古地理と現地形の比較から推定される地変	102
(1) 三方五湖周辺全域に関して 102	
(2) 日向湖に関して 102	
(3) 久々子湖に関して 102	
(4) 三方湖・水月湖・菅湖に関して 103	
(5) 美浜湾岸に関して 104	
2 史料に記述された地変の様相	105
(1) 日向断層西方・三方湖及び水月湖西岸の沈降に関する記録 106	
(2) 日向断層東方の隆起に関する記録 106	
第5節 三方地方の被害状況	111
1 山間部の被害	111
2 隆起部の新田開発	111
(1) 久々子村 112	
(2) 気山村 113	
(3) 日向村 113	
3 冠水地帯	114
第6節 浦見川掘削事業と新田開発	115
1 冠水の状況	115
2 行方久兵衛による浦見川掘削	115
3 副産物としての新田	118
第7節 寛文地震がもたらしたもの	119
1 寛文地震の意義	119
(1) 自然環境の変化とその意義 119	
(2) 小浜藩政史上の意義 120	
2 寛文地震の記憶	121
コラム 北陸地方の地震と津波	123

第5章 京都での被害と震災対応 124

第1節 震災当時の京都 124

第2節 京都盆地での被害状況 125

- 1 京都盆地での被害と余震 125
- 2 新たに判明した伏見での被害 128

第3節 京都での幕府の対応 133

- 1 被害状況の調査 133
- 2 作事手伝いの免除 135

第4節 朝廷の対応 138

第5節 町人の対応 139

- 1 地震発生に驚く人々 141
- 2 地震後の対応と避難生活 149

第6節 後世に及ぼした影響はあったのか 155

コラム 大坂（大阪）での被害について 157

コラム 京都御所の地震殿 158

おわりに 159

- 1 双子地震と防災上の課題 159
- 2 将来起こり得る京滋地域の地震とそれに対する備え 161
- 3 巨大崩壊に対する急性期治療と慢性期治療 162
- 4 寛文近江・若狭地震の教訓 164
 - (1) 地震の実態について 164
 - (2) 土砂災害について 165
 - (3) 当時の人々の対応について 165

謝 辞

災害概略シート